

あか

赤いペン

さわ い み ほ
澤井美穂作

なかじま り え
中島梨絵絵

かん
フレーベル館

ちゅうがくにねん うちき しやうじよ むらかみなつの
中学二年の内気な少女・村上夏野は、あるうわさ話を
しらべていた。それは、人から人へわたり歩いて持ち主に物
がたり語を書かせ、いつのまにか消えてしまう不思議な赤いペン
としでんせつ なつの とうきゅうせい はるやま こせいゆた きゆうのゆへしや
の都市伝説。夏野は、同級生の春山や個性豊かな協力者た
ちと共に、赤いペンに出会った人の話を聞き集めていく。
わす きて おく むす ちやく
忘れていた記憶を呼び起こす約束
てがみ みなそこ しず いさな にっき
の手紙、水底に沈んだ町に誘う日記。
ペンがつむぐのは、それぞれが心に
ひめる大切な思い出の物語だった。
あか
そして赤いペンの物語は、一人の
謎の作家の存在にたどり着く。

